

2023.01.01 Kyoni Communication Paper NEW WAVE

プロフェッショナル購買 & 生産技術パートナー **kyoni**



大いに満員御礼



代表取締役社長

井口宗久

皆様、あけましておめでとうございます。コロナウイルスについてはまだ心配な状況が続いておりますが、2023年が皆様にとって素晴らしい年になることを心よりお祈り申し上げます。

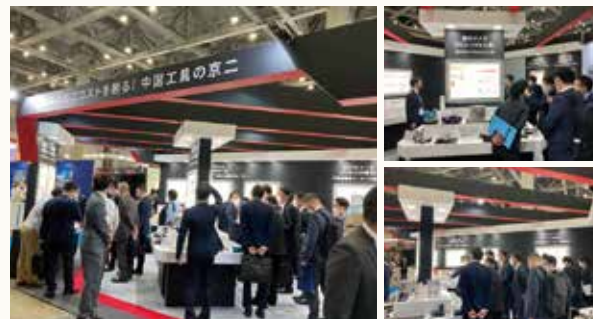
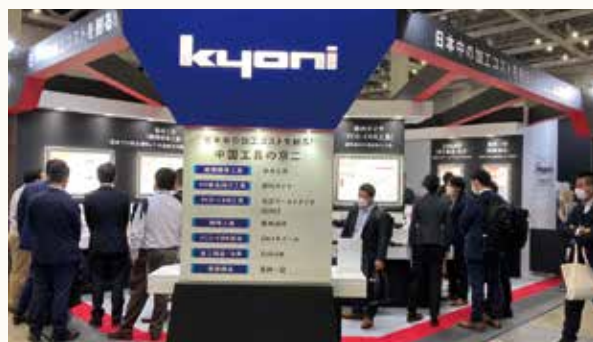
さて、弊社では展示会出展に力をいれていますが、コロナウイルス蔓延以降は開催自体が中止となったり、ご来場者が極端に少なかったりすることも多々ありました。そのような中で昨年11月に4年ぶりJIMTOF(国際工作機械見本市)が開催され、当社も株洲工具やEV部品加工用のダイヤモンド工具などの中国製品を出展いたしました。

弊社ブースでは常時満員御礼とまではいきませんでした。タイミングによってはブースが満杯になるくらいご来場いただいた時間帯もあり、大いに好評をいただきました。

中国製品のPRはweb等でも積極的に取り組んできましたが、やはり展示会で生の声でお引き合いや質問などをお聞きできたことを非常に嬉しく思いましたし、大きな手応えを感じることもできました。

久々のJIMTOFで感じたものづくりの活気とお客様のお

声を励みとして2023年も精一杯の活動をしてまいりますので引き続きのご支援とご愛顧をお願いいたします。



NewWave 1月号 index

P01 ... 2022年総決算と今年の戦略

P03 ... 困難を超えて 高い競争力の中国工具へ

P04 ... JIMTOF報告 中国工具に注目集中

P06 ... ロボット推進室 デジタル推進

P07 ... ロボデックス出展 厳選商品ご案内

P08 ... 固定配管の新商品 “DEFC継手”

P09 ... おススメ商品 真空濃縮装置～OIL FIELD

P10... 今年にける 部門長の新春抱負

P12... 未来のエース紹介、ネット通販事業強化へ

22年度決算と 23年度計画について

さて、本号では前期(2022年度)の決算と今期の2023年度の計画についてご報告いたします。

前期2022年9月期決算

- ・売上： 51億41百万(前年比118%)
- ・営業利益： 73百万(前年比107%)
- ・経常利益：1億26百万(前年比106%)

前期については半導体や部品不足の影響もありましたが、お客様全般の生産が回復されたことと、設備投資の復活を取り込めて工作機械の販売が大きく増加したことにより売上は大幅に伸張いたしました。また重点商品としているロボットは約25%、中国製品は約15%伸長し、売上もユーザー数も順調に拡大することができております。

2023年度の取り組み

2023年度の計画については、売上は横ばいの51億、営業利益9千万、経常利益1.4億といたしました。メインの取り組みは中長期的なテーマでもある専門力のある商品(油圧、ロボット、中国製品、水処理及び環境機器)になりますが、急激に伸びているEVや新エネルギー関連についても取り組みを進めていますので簡単にご報告いたします。

EV・新エネルギーへの取り組み

皆様のご存知の通りEVは以前に想定していたよりも、大幅に前倒しで世界、そして日本での展開が進んでいます。当社の自動車産業向けの売上比率は20%ほどで、極端に高いわけではないのですが、エンジンやトランミッションの加工用に機械工具商社の基幹商品である工具、工作機械を多数納入しております。これらは確実に減少していきますので、その対策を進めております。まだ実績としては少ないのですが幾つかご紹介いたします。

ロボットでの事例

不二越製コネクタ挿入セル

車載電子部品にコネクタを挿入するロボットシステムとして現在ご提案中の新商品になります。



工具での事例

鄭州ダイヤ製 モーター加工用PCD工具

JIMTOFでも多数の反響をいただきました。EV最先端国の中国で多数で実績がある商品です。



部品製品での事例

水素ステーション内 装置駆動用の油圧ユニット

写真はお出しできないのですが、燃料電池車の普及に不可欠な水素ステーションの装置の一部の駆動源として油圧ユニットの販売を進めています。



困難を乗り越え 高い競争力の中国工具へ

中国プロジェクト
執行役員

ゆ しん けつ
愈 箴 潔



2022年を振り返ると、激動の一年だったと言える。急激な円安、新型コロナウイルスの影響による中国のロックダウンと行動制限、ロシアとウクライナの戦争によるエネルギー価格の急騰など輸入商社にとって、険しいビジネス環境に置かれた。お客様に多大なご心配をおかけしたが、厳しい困難を乗り越えるために弛まぬ努力を重ねてきた。

“行動制限の中で納期をいかに守るか”奮闘する中国メーカー

新型コロナウイルスの影響で、中国各地の工具部品メーカーが行動制限を余儀なくされた。こうした中でも、取引先のメーカーはお客様へ納期を守ることを最優先に考えて、従業員が工場に泊まり込んで生産を続けて、高品質の製品を日本のお客様に届くよう対策を行ってきた。当社でもメーカーの努力に対応して、ロックダウンのような不測の事態に対応するBCP対策として、中国国内で、第二、第三の代替の出荷拠点を設けてリスクを回避してきた。コロナ禍にあっても、高品質の製品の納期を守り、日本国内に届けられるように尽力してきた取引先に心から敬意を表したい。



“円安の影響は最小限に” 粘り強く交渉

昨年、人民元相場は、年始に1元=18円から急激に円安が進み、年末には1元=20円にまでなつて為替差損が拡大した。さらに、原油価格が高騰し、社内でも困惑が広がった。メーカーにも粘り強く交渉を重ねて、出来るだけ値上げ幅を最小限で協力していただくことに成功するとともに、コスト削減を重ねて、お客様への負担をできるだけ少なくできるよう心掛けた。

アメリカの利上げのペースが減速し、急速な円安が収束するという見方もあるが、先行きは不透明だ。厳しい円安を乗り越えるため、強靱な体質となることで、より高品質でコストパフォーマンスの高い中国製品を提供できるように改善を続けていきたい。

“困難に強い新商品の発掘”

2023年は全世界で「WITHコロナ」時代に突入し、自動車EV化の加速、衛星通信技術の発展に加えて、新エネルギーが開発され普及していくことが予想されている。商社として情報収集力を磨いて、お客様に必要とされる優れた商品を発掘することで、自社の優位性を発揮して業績の向上を目指していきたい。

その中でも、20年間で培った調達のネットワークがある当社が選んだ今年の注目メーカーを紹介したい。

注目
メーカー

サイヨー (SAIY)

値上げラッシュが止まらない中、中国の高品質砥石専門メーカー サイヨーホイール (SAIY) に注目が集まっている。サイリ (SAILI) ブランドで約10年前から取り扱いを行っているメーカーだが、急成長を遂げ、新工場建設と共に社名が一新された。中国では日本よりも多くの工具メーカーが存在し、その多くが中国製の砥石を使用している。中国製の砥石は、原材料の多くが国内で調達できるため、値上げの影響を緩和できるのも特徴だ。工具メーカーの成長と共に砥石メーカーも拡大して、その中でも、サイヨーはトップメーカーの一つとなった。中国では工具製造でも生産性が重視され、高能率加工を追求したハイブリットボンド製品が重用されていて、去年のJIMTOFでもサイヨーが注目を集めた。

日本国内では工具研削用ホイールを中心に販売していて、集中研磨室、工具メーカー向けに納入実績が多数ある。納期も5-6週間で、日本のお客様からも非常に好評だ。今後は生産ラインでの製品研磨の採用も目指す。



サイヨー 砥石の応用範囲

注目
メーカー

北京ワールドダイヤ

北京ワールドダイヤはMANANOVAシリーズのCBN、PCD標準のインサートシリーズを販売している。すべてがメーカー在庫で短納期が可能だ。

焼き入れ鋼材用コーティングCBNインサートは、汎用性が高く、マルチコーナーでコストパフォーマンスが抜群だ。

エレメントシックス社のCBN原材料を使用しており、鋳物、粉末合金加工用CBNインサートも完備している。標準品で対応しきれないお客様には、使用条件に合わせたカスタマイズ品の提案力も強みとなっている。



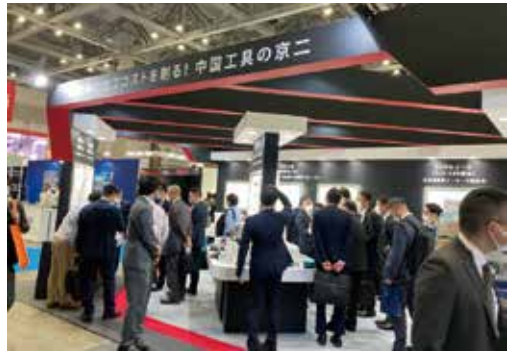
北京WD製標準インサートシリーズ

JIMTOF 2022

中国工具と砥石に注目集中

昨年11月8日から6日間、日本国際工作機械見本市「JIMTOF 2022」が開催され、当社のブースへも多数のご来場を頂き心より感謝申し上げます。今回のJIMTOF2022では「総合力が強い京二の中国調達」をテーマに多岐にわたる取扱製品のご紹介をいたしました。

出展メーカーは以下の通りで、従来の主力5社に加え新規メーカー3社お披露目いたしました。



京二ブース写真

中国No.1超硬工具メーカー “**株洲工具**”



自動車部品、EV関連に強味 “**鄭州ダイヤ**”



加工技術、材料開発に強味 “**北京ワールドダイヤ**”



特殊品の小ロット対応 “**蘇州途研**”



PCD/CBN砥石 “**SAIY**”



NEW 中国初ソリッドCBN生成 “**BERLT**”



NEW 部品加工 “**ZUOJIN**”



NEW 樹脂製品 “**嘉興一冠**”



株洲工具、鄭州ダイヤをはじめとする今や定番の中国メーカーも京二がご紹介するまで日本では殆ど無名でしたが今や知る人ぞ知るメーカーとなりました。その他のメーカーもご評価を頂き、京二の中国工具として定着しつつあります。当社が中国事業を始めてよりJIMTOFなど様々な機会でご紹介して参りました。お客様のニーズをキャッチし、新しい中国優良メーカーを投入できる事が京二の大きな強みと考え今回のテーマといたしました。

ソリッドエンドミルの小径 問い合わせ相次ぐ

期間中、『株洲工具／ソリッドエンドミル』『株洲工具／チップ式ボールエンドミル』『SAIY／ダイヤモンド・CBN砥石』などが特にお客様から高い関心を頂きました。ソリッドエンドミルは小径エンドミルの質問を多く頂きました。今後も需要が拡大していく分野ですので当社も力を入れていきたいと思っております。チップ式ボールエンドミルは従来の直刃に加えスパイラル刃が発売されました。金型加工のお客様より多くの問い合わせを頂きました。



京二在庫品
エンドミルシリーズ



チップ交換式
エンドミル
BMR04シリーズ



小径エンドミル
シリーズ

“推し”の新規出展メーカー3社 品質とコストメリットが強み

BERLT

中国で初めてソリッドCBNの生成に成功したメーカーです。中国市場では鋳鉄FCの粗～仕上げ加工で多くの実績があります。従来はコストメリットを見出すのが難しかった超硬・セラミックからの置き換えが増えています。



ソリッドCBNチップ



ブレーキディスク加工

ZUOJIN

精密加工品を得意とするサプライヤーで日系企業との取引経験が豊富です。鋳造部品、板金製品、治具、アッセンブリ品など対応可能な部品は多岐にわたります。



S20C鍛造部品



A6061-T6画像機器部品

嘉興一冠

樹脂製品サプライヤーです。PTFE、PFA、PCTFEなどの原料ペレットを棒材・角材などの任意の形状に成型します。成型した材料を加工前製品と機械加工済の完成品としての両方で供給が可能です。2023年3月には全棟クリーンルーム仕様の新工場が稼働し生産能力と製品品質が向上します。



加工部品（バルブ部品、
パッキン、ねじ）



加工部品（カーボン樹脂製
品など）

今回、JIMTOFでご紹介した製品以外にも多数の中国調達製品を取り扱っております。コストダウンや他のお困りごとでお役に立てればと存じます。何でもお気軽に京二へお問い合わせください。

各メーカーの詳細は中国工具・中国調達.comへ
<https://ch-prcure-kyoni.com/>



ロボット推進室 デジタルマーケティング推進

ロボット推進室では、皆様にもっと活動内容や取扱商品を知っていただくためにデジタルマーケティングを推進しております。今回は活動内容についてご紹介いたします。

●日本最大級のB to Bデータベースサイト イプロスで商品紹介

イプロスとは？

情報を探すユーザーと、技術をPRしたい企業をつなぐ日本最大級のBtoBデータベースサイトです。数多くの製品・サービス・技術情報が登録があり、各業界のプロが情報収集や選定・検討のために利用されています。

京二では

新製品情報や特徴のある商品などを中心に、多数紹介しております。ぜひご覧ください。

URL <https://premium.ipros.jp/kyoni/>

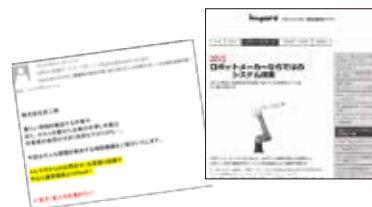


●省力化に役立つ商品 メルマガ配信

ロボット推進室では

ロボット以外にも皆様の省力化に役立つ商品などの紹介にメールマガジンを配信しています。

商品紹介のページは独自編集で皆様にわかりやすくご案内できるように心がけています。



●YouTubeでオリジナル動画配信

YouTubeでは

出来る限りオリジナルの動画を配信しています。

現場でのデモの様子や実際に使用した使用感など生の声をお届けできるようにしています。

今後は実際に納入した自動化の事例なども積極的に掲載いたしますので、チャンネル登録をお願いいたします。



ロボット推進室では、皆様にとって有意義な情報をわかりやすく発信していきます。

自動化・省力化についてのお問い合わせはロボット推進室までお願いします。

(担当；寺内・藤野)

第7回 ロボデックス出展 厳選商品のご案内

第7回 **ロボデックス**
ロボット **開発・活用** 展
会期:2023年1月25(水)~1月27日(金) 会場:東京ビッグサイト



西館1F ブース No54-36

URL <https://www.fiweek.jp/tokyo/ja-jp/about/robo.html>



本年も1月25日より開催されるロボデックスに出展いたします。皆様の自動化・省力化にお役に立てる製品を展示いたします。ご来場お待ちしております。



昨年の様子

不二越 新型協働ロボットCMZ05

不二越の大ヒットのMZ-Fシリーズを踏襲した協働ロボット
4~7kg小型協働ロボットでトップのリーチ927mm
中空手首採用でスッキリした配線配管が可能
MZ-Fシリーズとの部品共有化により導入しやすい価格を実現



FANUC アーク溶接協働ロボットパッケージ

技術が必要なアーク溶接の作業を自動化
ダイレクトティーチングで多品種少量生産でもロボット化が容易に
タブレットペンダントで溶接条件の設定が可能
OPのアナログリモコンを使えば溶接中でも電流・電圧の調整が可能

URL <https://lp.kyoni.co.jp/funuc-crx/>



アムンゼン イージーリフト

作業時間の短縮、労力の軽減、人員の効率的配置を実現します。
1台のバキュームモータだけで吸着と持ち上げの両方の作業が可能です。
指先だけの簡単なレバー操作で誰でも重い荷物が運べます。

URL <https://lp.kyoni.co.jp/easy-lift/>



新明和ソフトテクノロジー Nazca Neo Linka

「工場マネジメント」をコンセプトに開発した
工作機械の稼働監視システムです。
工作機械の稼働データをリアルタイムに収集し、
パソコンやスマートフォンからいつでも稼働状態を把握できます。

URL <https://lp.kyoni.co.jp/kyoni-nazca/>



新商品

自在で簡易に固定配管 “DEFC継手”

南関東営業所 部品チーム
加藤秀美

部品チームとして現在取り組み中の商品についてご紹介させていただきます。
現在、大型車両メーカーのお客策様にも採用して頂いており大変好評で重宝しておられます。

事例1 『DEFCエルボ型』 使用で配管工数を削減

マニホールドブロックのテーパネジポートに90度エルボ(管用テーパネジ)を介してホースアセンブリを配管される場合、配管方向をシールテープの巻き加減により、1回転単位で方向調整しなければならず、間隔の狭いポート間で干渉せずに配管するには大変工数がかかります。

『DEFCエルボ型』 使用により配管方向を任意で簡易に決められ、ホースバンドのボルトを締め込むことで余分な手間と工数をかけずに確実に固定配管することが可能です。



事例2 『DEFCストレート型』 使用で配管ホースのねじれを解消

ホースニップル用ユニオン金具両端組付けで最後の締付け時に金具とホースが供回りすることにより、ホース加締め部分にねじり応力が残留しホースにねじれが生じ易くなります。

『DEFCストレート型』 使用によりホースねじれを解消しホースの早期劣化を防止致します。



『本体L型・S型』、『オスコネクタ』、『クランプ』、『ホースバンド』、『オーリング』の5部品で構成されており構造はいたってシンプルでオーリング使用により油圧・空圧共に洩れの気密性も優れています。

- ▶ 本体・オスコネクタ・クランプ材質: S45CL (3価クロメート)、
- ▶ ホースバンド材質: バント及びハウジング SUS (SAE301)、ボルト スチール(SAE1018)

下記サイズの組合せにてアセンブリ使用が可能

- ▶ エルボ型 ⇒ L1+C1、L1+C2、L2+C1、L2+C2 計4通り
- ▶ ストレート型 ⇒ S1+C1、S1+C2。S2+C1、S2+C2 計4通り

【エルボ型L】	【ストレート型S】	【共通コネクタC】
1. □24 × Rc 1/4	1. 六角24 × Rc 1/4	1. 六角24×R1/4
2. □24 × Rc 3/8	2. 六角24 × Rc 3/8	2. 六角24×R3/8

L型S型の組合せでオフセット、ドレン回収等、多種多様な配管が可能となります。



ジャパン・
フィールド(株)

真空濃縮装置 OIL FIELD (PAT.P)

オイルフィールド®

CO₂削減とコストダウンに新提案

『オイルフィールド®』特徴



洗浄液・加工油の使用量の削減、廃液量の削減などによる**環境負荷の軽減**と**CO₂削減**が可能になります。

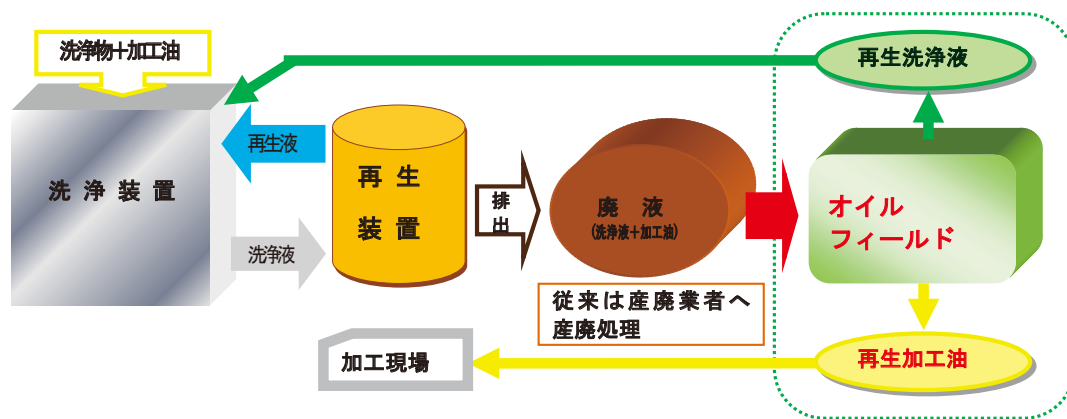
洗浄装置や再生装置から排出される汚液から洗浄液を回収できるので**洗浄液のコストダウン**ができます。

オイルフィールドから再生加工油も回収できるので**加工油のコストダウン**ができます。

洗浄装置や再生装置から排出される汚液のボリュームが小さくなり、産業廃棄物の量が減り、**産廃のコストダウン**になります。

炭化水素系溶剤、高級アルコール系、シリコン系溶剤、塩素系溶剤、フッ素系溶剤等の汚液に幅広く利用可能です。

オイルフィールド®使用事例



項目	事例①(炭化水素系)	事例②(炭化水素系)	事例③(炭化水素系)	事例④(臭素系)
洗浄液名称	UFクリーナー3	NSクリーン	クレンゾル	アブゾール
汚染物	鉍物系加工油	鉍物系加工油	水溶性加工液(水分除く)	鉍物系加工油
再生機からのドレン量	約200L/月	約200L/月	約200L/月	約200L/月
回収率(wt/wt)%	91.2	79.4	95.0以上	75.7
回収量(L/月)	182.4L/月	55.8L/月	3800L/月	151.4L/月



2023年 部門長の新春抱負



時代の変化に 対応する商社へ



千葉営業所 所長
市川忠能

昨年を振り返ってみるとあっという間に過ぎ去って行ってしまったという印象があります。お取引様における電装系をはじめとする部品不足、部品の長納期化、更には様々な商品の価格改定への対応、もちろんコロナの影響も残りど落ち着かない1年であったと思います。そのような状況でもお取引様のお引き立てを賜り何とか1年間を乗り切ることが出来ました。この場を借りて全てのお取引様に感謝申し上げます。

新年を迎え、先程、挙げさせてもらった部品不足、長納期化、コロナの影響が大きく変わるとは考えられないと思います。ただ、私達を取り巻く環境は変化しており、お取引様も変化しています。その変化を敏感に感じ取る事が重要です。自動車業界のEV化、脱炭素、省エネ、代替エネルギー、電池等まだまだ先の事だろうと思っていたのが、変化は既に始まっています。その変化の波に乗り遅れると取り残されてしまいます。取り残されない為にもアンテナを高くて情報収集を行い、私達商社の役割を柔軟に変化させ対応していく事が大切だと思います。

最後に、今年は兎年です。兎は世界各地で縁起の良い動物とされているようです。

お客様と共に大きく発展(ジャンプ)できる1年となるよう精一杯努力して参ります。

不可能を可能に



名阪営業所 所長
佐藤真広

名阪営業所に赴任して5回目の正月を迎えました。3年続いた新型コロナウイルスも欧州ではアフターコロナ期となり、世界的にも終息する兆しが見え始めて参りました。感染対策で、お客様との物理的距離が遠く感じられた一年でしたが、今年はもう少し距離感を縮められそうだと期待しております。旧年中は急激な円安や物価上昇、ウクライナ紛争による海外情勢の変化など不安な出来事のオンパレードでした。このような世界情勢のなか、スポーツ界ではメジャーリーグで活躍した大谷翔平に大きな活力を貰いました。私も同じ岩手県出身なのでずっと応援していたのですが、成功までの生い立ちで、高校時代に佐々木監督から教えられたという『先入観は可能を不可能にする』という言葉に深く共感したのを覚えています。技術革新が凄まじい昨今、EV化、デジタル化、カーボンニュートラルなど多くの企業が新世代に向けて新たな活動をしており、商社としてご提案できる機会が増えるだろうと胸を弾ませております。本年は『先入観を捨てることによって不可能が可能になる』と深く心に刻み、お客様に役立つよりよい活動をしていきたいと考えております。

景気回復の一翼に



産業装置室 室長
齋藤英二

産業装置室では、水処理機器ポンプ・ブロワ・スクリーン等の販売や設置・修理作業を請け負っております。

昨年は、コロナ禍・ロシアのウクライナ侵攻・中国や北朝鮮の軍事的脅威・インフレによる円安・部材供給不足による納期遅延など様々な問題が発生しており、景気はここ数年で最も冷え切った状態になっていたと思います。そのような中、日本国内ではやっと新型コロナウイルスによる行動規制が緩和され旅行支援で観光・飲食など一番厳しかった業界の一部に景気回復が見られる様になってきました。この良い流れが産業機械業界そして日本中に広がる様に、微力ながら我々も日々努力していきたいと思っております。

前進し 発展できる年に



北関東営業所 所長
今泉秀美

年明けとはいえ今年も我々を取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いております。昨年は納期、為替などから影響を受け続けましたが「何をどう変え、どう進んだのか」「仕入先、顧客様からの評価はどのようなものだったのか」など社内社外の意見を素直に受け入れながら更なるステージへ前進していきたいと考えております。それには中期プラン、長期ビジョンを意識しながら全員で考えて営業活動をしていきたいと考えております。そこで今年は数多くのメーカーをPRさせていただきます。特に自動化に伴うロボットシステム、と昨年、JIMTOFで出展した中国優良砥石メーカー、超硬・CBN工具メーカーに力を入れてまいります。砥石はランニングコストを抑えられ価格低減に御協力できる商材でございます。皆様の結果的に京二と取引きして良かったと評価いただけるようビジネスを展開していきたいと思っております。

中国製品 安定供給網を整備



中国プロジェクト 室長
丸山純一

2022年9月期決算で当部門は(売上)計画比108%/前年比113%、(粗利)計画比95%/前年比108%の結果となりました。依然と続くコロナの影響、ウクライナ戦争、円安など不安定要因が多い中、まずまずの結果を残せたことはお客様のおかげであり心より感謝申し上げます。昨年の大きな出来事として、上海ロックダウンで一部のお客様への供給でご迷惑をお掛けしましたが、何とか影響を最小限に抑える事ができました。これは当社が以前よりリスクヘッジしていた①日本国内に在庫を持つ②需要予測に基づいた先行手配③代替メーカーを用意などが大きな要因と考えます。しかし物流ストップへの対策は不十分で製品が完成しているのに空港で止まっているなど悔しい思いも致しました。この物流に関しては複数都市からの発送を可能とするようアカウントを整備しました。上海から発送できない場合は蘇州から、蘇州が不可の場合は他の都市からなど対策を講じました。不安定な世界情勢ですが、製品の安定供給を含めBCP対策により「お客様が安心して使える中国製品」を目指して日々知恵を凝らして参ります。

お客様に必要とされる パートナーに



東北営業所 所長
会田宏幸

コロナウイルスに端を発した、半導体を始めとする様々な部品の入手困難、2月23日に始まった、ロシアのウクライナ侵攻により更なる原材料・エネルギー価格の高騰による値上ラッシュ・大幅且つ急激な円安等、私たちを取り巻く環境が足元から大きく揺らいだ一年間でした。そうした環境下でも、お客様の工作機械やロボットなどへの設備投資に支えられ、東北営業所としては3期ぶりに計画数字を達成する事ができました事をこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

4年ぶりに開催されたJIMTOFを見学しましたが、工作機械メーカー各社はロボットを用いた省人化・自動化を前面に出した展示が非常に多かったと思います。弊社としましても、重点的な営業活動方針として、省力化・省コスト化のコーディネーター・創業以来の取引先である不二越様商材の拡販・コストダウンの切り札で有る中国工具の拡販の3本柱を強化しつつも、生産現場のニーズにマッチした提案を第一に心がけ、お客様に必要とされるパートナーを目指して活動して参ります。

省エネ・自動化で 満足度向上へ



南関東営業所 所長
熊谷康之

コロナも未だに終息せず、ロシアのウクライナ侵攻、多数の物資不足、急激なインフレと世界情勢に大きな変化があり、改めて世界のうねりを感じながら79期を終えました。そんな中でも皆様の御蔭で、加工設備、油圧装置、切削工具、搭載部品などを幅広くご注文いただき目標をほぼ達成することが出来ました。また、掲げた目標の中で特に部品専門チームが成果を出せました。部品専門チームとは搭載部品である油圧機器、軸受、計器類を主力とし、試験装置の製作や改造も請け負います。前期は油圧試験装置の移設工事や改造、省エネ油圧ユニットの導入をご注文いただきました。加えて前項に掲載しております『DEFC継手』も当チームの開発商品になり、ユーザー様で採用が決まっております。

今期のテーマとしては、問合せの多かった省エネ、省力・自動化に力を入れて参ります。多数のエンジニアリング会社様とタッグを組んでご要望に沿った最適なお提案を目指します。それ以外に調達品においても何かお困りでしたらお気軽にご相談ください。以上、今後とも変わらぬお取引を何卒宜しくお願い申し上げます。

協働ロボット 有効活用に尽力



ロボット推進室 室長代理
藤野大介

昨年は、ロボットに関する大きな展示会が2つ開催されました。3月の国際ロボット展ではコロナ禍の影響もあり前回開催よりも来場者は少なかったようですが、各メーカーはVRなど従来になかった技術を生産現場に適合させようと工夫をされて非常に興味深い、また可能性を強く感じる展示会でありました。6月末に名古屋で開催されたロボットテクノロジージャパンでは工作機械と協働ロボットとAGVについて様々なコラボレーションで提案されており、協働ロボットの用途については各社工夫され、協働ロボットの上手な使い方のお客様の生産現場の効率化の重要なファクターであると感じました。

本年のロボット推進室では、協働ロボットの有効的な活用について提案、AGV・AMRを使用したシステムなどに力を入れていきたいと考えています。

年初には6回目の出展になりますロボテックス展が東京ビックサイトで1月25日から27日までの3日間開催されます。最新鋭のロボット、多品種少量に適した溶接システム、省力機器、安価で始められるIoTなど幅広くご提案をさせていただきます。

体調の崩しやすい時期でございますが、皆様のご来場をお待ちしております。